



インスピレーションになろう

成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2018～19年度会長 パリー・ラシン

第2805回例会 平成30年7月20日(金)

- ◇ 点 鐘 神崎 誠 会長
 - ◇ ロータリーソング それでこそロータリー
 - ◇ 四つのテスト 香取 竜也 会員
 - ◇ お客様紹介
- 成田コスモポリタンロータリークラブ
金子 公久 会員
- ◇ ニコニコボックス



石田 洋平 会員：先週、7時間かけバスで南三陸までボランティアに行っていました。この時期になぜ西日本ではなく南三陸かと申しますと、西日本ではまだボランティアを受け入れる態勢が整っていませんでした。南三陸へのボランティアは震災の翌年から毎年続けており、町自体はかなり復興が進んでおります。

復興住宅におられたご老人の方々は、1日中会話する機会もなく郵便配達の方がいらっしやった時に「ご苦労様」と言って1日が終わるそうです。そのため、元気付けようと言うことで、みんなで一緒に焼きそばを作ったり話をしたりゲームをしたりしました。無表情だった顔がどんどん笑顔になり明るくなって最後は大爆笑されていました。私たちが帰る時はバスに向かって手を振っていただき、また来てくださいと言っていました。また、若い方々は南三陸にワイナリーをつくろうとされていました。一生懸命少ない人数で作ろうとしているところが草ぼうぼうで、我々全員で草刈りをしたらあっという間に綺麗になりました。斜面がきつく肉体的に大変でしたが、気持ちは晴れ晴れしました。



近藤 博貴 会員：最終例会で諸岡靖彦会員からカナダのトロントで行われた国際会議のお土産として、メイプルシロップを頂戴しました。ポール・ハリスの自叙伝「ロータリーへの道」の第14章には「バーモントのメイプルシロップ」という文が6ページほど載っています。春になって楓の樹液が出始めると、ポール・ハリス達は樹液集めを手伝い、手伝いのかたわら甘そうな樹液を失敬して飲むのを楽しみにしていたと書いています。

メイプルシロップを1リットル作るのには約40リットルの樹液が必要で、昼間は樹液の採集、夜間は煮詰める作業で重労働だったという記述もありました。ポール・ハリスは1868年4月の生まれで少年時代のことですから、日本で言えば明治初年頃の話だと思います。

諸岡会員はトロントの帰途、バーモント州のウォリングフォードに立ち寄られたそうです。またウォリングフォード付近の地図をいただきました、貴重なもので感謝しています。

ポール・ハリスは3歳のとき兄と共に父親に連れられて、祖父母の住むウォリングフォードにやってきました。父親がウィスコンシン州ミシガン湖畔のラシーンという町でやっていた事業に失敗し、一家離散になったためです。ポール・ハリスはウォリングフォード

で18歳ごろまで生活し、この町の人々と交流し、自然に親しみ、ガキ大将として、いろいろないたずらをしてきました。シカゴで弁護士を開業してからも、故郷ウォリングフォードの思い出を懐かしみ、心許しあえる友人たちと親睦関係を結ぶことができないだろうかと考えました。ロータリークラブを作る発想の原点になったと思います。



小泉 英夫 会員：今年は、明治元年からちょうど150年、空港開港から40周年、成田山開基1080年、節目の年に祭りの実行委員長をやらせていただき大変光栄です。これも皆様のおかげだと思っております。お祭りですが、間際になると天気がコロコロ変わり、初日は朝と夕方は雨、昼間の安全祈願は無事に終わり次の日から夏が戻ってきました。初日は、お客様が少なかったのですが、2日目、3日目は、例年通りたくさんのお客様にお出でいただきました。事故もなく三日間無事に終わったと言うことで大変感謝しております。たくさんの企業の皆さん、ロータリーの会員の皆様にもたくさんの協賛をいただきましたことに御礼を申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

◇ 会長挨拶 **神崎 誠 会長**

皆様、こんにちは。連日の真夏日または猛暑日、そして熱帯夜で体力も消耗され、お疲れのことと推察申し上げます。

ですが、本日は「丑の日」でうなぎの日です。成田市では、観光協会主催のうなぎ祭りが7/13～8/26まで開催されていますが、皆様うなぎを食べて元気に行きましょう。

成田コスモポリタンロータリークラブの金子様、ようこそいらっしゃいました。

今年度の奉仕活動で、新規事業プロジェクト名日本ボーイスカウト成田第1団等広場利用者への衛生設備支援について、ロータリー財団委員会から、地区補助金決定のお知らせが7/18に届き、補助金決定額は299,970円で、上限額を頂きました。事業総額は773,600円を予定しております。これまで申請に関わって頂いた平山幹事、小寺会員、諸岡市郎左衛門会員、甲田会員、各委員長には大変感謝申し上げます。また、これからはクラブを挙げて実行していきたいと思っておりますので、関係委員会の方々の計画作りを宜しく願います。

皆様には配布済みの活動計画書の中で、広報・公共イメージ向上委員会の名称が統一されていない部分があり、お詫び申し上げます。

本日はクラブ協議会 Part II ですので、本日担当の委員会の方々は、活動方針の発表をしてください。

暑中見舞いと地区補助金の決定をお知らせし、会長挨拶とさせていただきます。

◇ 委嘱状授与

- ・2018-19年度第2790地区月信委員会委員
齊藤 三智夫 会員（先週記載済み）

◇ 委員会報告

- ・社会奉仕 **矢島 紀昭 リーダー**

例会終了後、こちらの会場で委員会をおこないますので、委員の方は出席お願いいたします。



・国際奉仕 佐瀬 和年 リーダー

国際奉仕という言葉から受け止める印象と、ロータリークラブから配布されている「わかりやすいロータリー」、これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」の資料をもとに、国際奉仕について、会員各自の意見交換を行う会議を開催いたします。日時は決まり次第ファックスでご連絡致します。



・青少年奉仕 田渕 公敏 リーダー

17日の火曜日、新旧青少年委員の引き継ぎを実施しました。9名の会員の方に参加していただきました。1年の振り返り、反省、地区での動きの共有などについて話し合いました。

8月26日の日曜日、第12回成田ロータリークラブ杯中学校剣道大会が開催されます。

開場8時、集合8時半となっております。詳細は、後程FAXさせていただきます。



・会員増強・維持拡大委員会 村嶋 隆美 委員長

会員増強・維持拡大委員会よりご報告いたします。

去る17日に当委員会のリーダー、ザブリーダー会議を神崎会長に同席いただいた中で開催し、本年度の活動について話し合いを行いましたのでご報告いたします。

まず、会員増強については、本年度の新規会員加入数の目標を5名とし、この中で女性会員の加入も進め、女性会員の割合を1割とすることを目指していくこととしました。

会員の皆さまには、今年度も引き続き、積極的に会員候補者の推薦をお願いいたします。

次に、退会防止については、入会3年未満の会員を対象として、ロータリークラブに関する意見交換会及び懇親会を開催することといたしました。率直な質問をし、意見等の交換ができるように工夫して参りたいと考えております。開催期日等の詳細については、今後、検討し、決まりましたらご案内いたします。

また、新入会員にとってこれまで以上に居心地の良いクラブにしていくために、会員の皆様には、例会等において、新入会員に積極的に声かけ、話しかけを行なっていただくようお願いいたします。

次に、出席奨励については、出席率の向上対策として、出席義務、メイクアップについて改めて周知していきます。また、SNSを利用した例会の閲覧を出席扱いとすることは、利便性は勿論のこと、出席率の向上に寄与するものと思われまますので、今後、研究して行く必要があると思ひます。

以上、委員会のご報告とさせていただきます。

なお、来週、27日の例会においては、月間特別卓話が予定されておりますが、会員増強の機運を高めるため、地区の会員増強・維持拡大委員長で千葉ロータリークラブ会員の櫻井守氏に地区の会員増強に関する活動方針をお話しいただく予定ですので、ご案内いたします。

今後とも当委員会に、ご指導、ご協力のほどよろしくお願い致します。



・ロータリー財団 本宮 昌則 リーダー

2点報告いたします。1点目は、寄付の報告です。



諸岡靖彦会員から年次基金として1,000ドル、小寺会員からポリオプラスへ1,000ドル、齊藤会員からポールハリスフェローへ1,000ドルの寄付をいただきました。2点目、本例会終了後、第1回ロータリー財団委員会を開催いたします。委員の皆様ご参集ください。

・米山記念奨学 浅野 正博 サブリーダー
諸岡靖彦会員から100,000円の寄付をいただきました。



◇ 幹事報告 平山 秀樹 幹事
【回覧】

- ・「第17回ロータリー全国囲碁大会」のご案内
- ・2018年度 成田ロータリークラブ会員名簿 ご確認のお願い



クラブ協議会

司会進行

平山 秀樹 幹事

【各委員会活動計画】

・奉仕プロジェクト委員会 甲田 直弘 委員長

神崎会長より今年度は奉仕に重点を置くというメッセージを頂き、担当委員長として改めて身の引き締まる思いでございます。

今年度地区テーマ「伝統と未来」～誇りと連帯感～となっておりますが、橋岡ガバナー曰く 要約致しますと世界のロータリーは激動変革の時代を迎えており日本もこの流れから外れる訳にはいきませんが、日本のロータリーが100年近い歴史の中で忠実に守り抜いてきた良き伝統を誇りに思い、胸を張って継続していくべきですが同時に立ち止まってはいけないものでもあります。との事です。

このメッセージを忠実に実践すべく成田クラブとしても現在継続しております青少年奉仕で地域中学校の剣道大会の支援を行い、国際奉仕で新モンゴル高専支援事業の総括、職業奉仕で職場見学などの実施、社会奉仕では石川年度で実施された障がい者施設「大成会かしの木園」への支援を再度検討していきたいと思っております。

そして最後になりましたが神崎会長の思いでもあります「日本ボーイスカウト成田第1団等広場利用者への衛生設備支援」を全員参加で成功させたいと思っておりますのでご協力の程宜しくお願い申し上げます。



・ロータリー財団・米山記念奨学委員会 諸岡 市郎左衛門 委員長

神崎会長のターゲット「奉仕を实践」するを資金面で支えるのがロータリー財団、米山記念奨学会です。

(ロータリー財団への寄付目標)

2018-19年度予算書での寄付目標は198万円(1口1,000米ドルを為替換算して日本円で寄付、前年度より18万円増額)です。

地区を挙げた取組の一つであり、国際ロータリー(RI)の最優先項目がポリオ撲滅「エンドポリオナウ」。ポリオプラスへのご理解ご支援をお願いします。今年度も分割による寄付やポイントの活用も行う予定です。

(米山記念奨学への寄付目標)

予算書での寄付目標は100万円、これは前年度と同額です。今年度も分割による寄付も行う予定です。

(ロータリー財団地区補助金)



先刻の神崎会長のご挨拶や奉仕プロジェクト委員長の説明においても言及されました地区補助金について補足をいたします。成田クラブから、2018-19年度の地区補助金を3月に申請しました。市内津富浦の「いこいの広場」への衛生設備—仮設トイレの設置補助、ボーイスカウトとの交流会、掃除等の周辺環境整備が主な事業内容です。7月18日に、国際ロータリー（RI）の決定通知が成田クラブに届きました。地区ロータリー財団委員会、地区奉仕プロジェクト委員会からの条件・意見として、ロータリアンによる清掃活動の際にはタスキ等をかけての活動、メディア・広報等への積極的掲載、報告書への写真の添付等が求められております。

この事業の実施に当たり、奉仕プロジェクト委員会ははじめ会員の皆さまの多大なご協力の下に実施し、成田クラブの奉仕活動をアピールし、公共イメージ・認知度向上につなげて参りたいと思います。宜しく願いいたします。

地区のセミナー等においては、「寄付は第二の奉仕」と言われております。引き続き、ロータリー財団・米山記念奨学へのご支援・ご協力をお願いいたします。

・ S. A. A. （正） 香取 竜也 会員

S. A. A. を担当させていただきます香取です。今期は8名中、6名がS. A. A. 経験者です。パスト会長の遠藤会員の助言をいただきながら神崎会長のターゲットにもございます「ロータリーを楽しもう」を念頭にメンバーでしっかりと会場監督にあたり、会員全員で盛り上げていければと思いますので、どうぞご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。



また、ここ2年で今までにない20名以上増員しているわけですのでまとまりのあるクラブに常になるようにしたいと思っておりますので新旧会員、何か思う点がございましたらS. A. A. に気軽にお声をかけていただき、その都度検討していきたいと考えます。最後に例会上の責任者でもありますので、スタッフと共により一層連携してスムーズに例会が遂行できるように努めたいと思います。

・会計 土井 英二 会員

本年度、会計に任命されました土井でございます。6月に入会したばかりの私が、会計の重責を任されることになり、不安もありますが、神崎会長のスローガン「奉仕を实践しロータリーを楽しもう」を基本に、限られた予算を有効に活用し、楽しく活力溢れたクラブの運営を实践できるよう、精一杯努めてまいります。会員の皆様が有意義なロータリー活動ができるよう、予算は厳格に管理していく所存ですが、会員皆様には、例年通り自己負担をお願いする場合もございますので、何卒、ご理解とご協力をお願い致します。



・神崎 誠 会長

2018-2019年度、伝統ある成田ロータリークラブの会長を務めさせて頂くこと、身に余る光栄であるとともに重責を痛感しております。会員皆様の温かいご指導ご支援、さらなる友情のもと、一年間頑張りますのでよろしくお願い致します。

国際ロータリー会長バリー・ラシン氏のテーマは、「インスピレーションになろう（Be The Inspiration）」です。一番大切なのは、前向きな変化を生み出し、私たちが今日直面する課題に勇気と希望、そして創造性をもって正面から立ち向かう意欲を、クラブ、地域社会、そして組織全体から引き出すための「イ



ンスピレーション」になる必要があると述べています。

また、国際ロータリー第 2790 地区ガバナー橋岡久太郎氏は、地区テーマを「伝統と未来」～誇りと連帯感～とし、伝統は 100 余年のロータリーの歴史と「4 つのテスト」、そして未来は「レガシー・ポリオゼロ」宣言と継続的な 6 つの重点分野の推進としております。誇りと連帯感とは、ロータリーは世界中の人生に前向きな素晴らしい人々が集う団体で、地域、世界で貢献している会員たちで、信頼の絆で友情を育んでいることと述べています。そしてクラブ会長には、会員増強など 8 つのお願い（地区運営方針、会長の皆様へを参照）をされております。

成田ロータリークラブでは、大部分は実行されていますが、情報の収集、共有のため、会員にマイロータリーへの登録を推奨することと、公共イメージと認知度の向上をはかるため、ロータリーデーの立案と開催を計画したいと思っておりますので、関係委員会の方々には、リーダーシップをお取り頂きたいと思っております。

奉仕プロジェクトは例年どおり実施しますが、新しく成田市大栄地区にある「いこいの広場」に仮設トイレを設置すべく計画しております。この広場は近くの方々や特に日本ボーイスカウト成田第 1 団の活動拠点にもなっており、交流・支援を継続しておりますが、設備は平成 24 年 11 月の倉庫寄贈以来のものとなります。3 月末にロータリー地区補助金を申請しており、認められれば予算的にも大変助かります。

国際奉仕では、モンゴル高等専門学校の支援を続けていますが、今後どうすべきか総括する時期となってきました。皆様の忌憚のない意見をお願いします。

現在会員数も 74 名となり、若い会員、入会間もない会員も多く、例会参加をはかる一つの手段として、SNS の活用を検討していきたいと思っております。

また、RI では、クラブが戦略計画を立てることを提唱していますが、成田ロータリークラブには長期計画委員会が存在し、かつ奉仕プロジェクトの計画実施についてと数値目標があり、これとどう関係させるか議論していき発展させたいので、諸先輩のご意見ご協力をお願いします。

来る諸岡靖彦ガバナー年度に向けて、年度後半は三大セミナーも開催されますので、会員皆様の協力が必要です。全員参加で成功させましょう。

会員の多くが友情と人助けのため、奉仕活動をするため、成田ロータリークラブに入会されました。皆様との親睦、友情を深化し、そして大勢が積極的に参加する奉仕活動を実践し、ロータリーを楽しみたいと思っておりますので、ご指導ご協力の程、お願い申し上げます。

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」

(国際ロータリー 「ビジョン声明」 2018.1.14)

・平山 秀樹 幹事

幹事としては、全力で会長方針の実行をサポートします。会長が攻めなら、幹事は守り。諸先輩方が培ってくださった、高い評価を得ている成田ロータリークラブという「ブランド」をいかに守るかが私の使命です。ブランドを守るために必要なルール、会員意識の徹底をはかります。また、来年度の諸岡靖彦ガバナー年度を控え、神崎年度の後半は三大セミナーも実施されます。私は地区のことは全く分からないままでおりました。昨年度、諸岡ガバナーエレクトがガバナー補佐を務められた時に第 9 分区（現在の第 10 グループ）の幹事を務めさせていただき、地区のことを色々と教えていただきました。諸岡ガバナーエレクトに心から感謝もうしあげます。最後に、すでに委員長方針でも出ていましたが、現在は会員の住所、電話番号等



から週報の全ての内容まですべて公開されている成田ロータリークラブの個人情報を整理し、会員全体の議論の中で非公開とすべきもの、公開とすべきものの区分けを徹底したいと思っています。現在のウェブ、SNS は諸刃の刃です。クラブと会員を守る意識をクラブ内で醸成します。大変、力足らずの私でございますが、引き続きみなさまからのご指導、ご鞭撻をいただき、幹事の職務を全うできるように努力して参ります。

◇ ミニ卓話

少しお時間があるようですので、7月8日にお招きいただきました銚子ロータリークラブ3000回記念例会での卓話内容をお話しさせていただきます。

ロータリーが私に教えてくれたこと

ガバナーエレクト 諸岡 靖彦

銚子ロータリークラブ3000回の記念例会にお呼びいただき、光栄です。銚子も成田も日本遺産北総4都市江戸紀行の地域連合の街であり、銚子は早くから漁港として、利根川舟運の要としてこの地域をリードしてきました。近年交通事情で時代から遠のいているようですが、自動車道が整備されれば昔日の勢いを取り戻すことは間違いありません。海岸線の景観、食文化で交通、観光交流を盛んにしたいものです。



今から35年前、私が35歳で青年会議所に入会した年でした。沼田武県知事が各産業や行政の現場で働く青年を欧州に研修派遣するプロジェクトに参加することになり、初めて海外に出る機会を得ました。私は「都市班」に所属して、パリ～ジュネーブ～ハノーバーの都市計画や環境問題を学習して、世界に眼を開く事が出来ました。それまでの狭く限られた生活範囲を超えた視点と考え方に触れることが出来ました。本日は、ロータリーの出会いから私が眼を開いて、ロータリーから教えてもらったことについてお話いたします。

成田のリーダー平山金吾さん(1997-98年度ガバナー)は私よりひと回り上の亥年の先輩で、青年会議所やモラロジー、経営者協会の活動で常に先頭に立って活動されてきました。ガバナー・エレクト時代の織田吉郎さんとお引き合わせしてくれたのは平山さんでした。織田さんや平山さんとのご縁は2010-11年度私の成田ロータリークラブ会長年度に集約されます。織田さんのガバナー年度であり、平山さんはこの年の成田クラブ創立50周年実行委員長でした。後でご紹介します白鳥政孝パスト・ガバナーは織田年度の地区研修リーダー、平山さんは2010年度RI規定審議会の地区代表議員でした。織田ガバナーの「2010年地区協議会」資料を見ますと、〈日本のロータリー危機の構図〉や〈国際ロータリー加盟主要国会員数の推移(1999.6~2009.6)〉という見たことのない分析やデータがあります。成長期の国際ロータリーをリードした先進国や高福祉国では会員の減少が進み、途上国のみが会員を増やしている、国際ロータリーが目指す所はボランティア団体であり、職業奉仕理念は衰退する、途上国のロータリーを育成するために組織の機能化を目指すことはロータリーを危うくするおそれがある、という指摘です。これは一時地区を二分したCLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)是か否かの議論につながります。織田ガバナーの公式訪問例会では、私は成田クラブを蘇生したCLPの成果を誇らかに表明しました。織田さんのロータリー観ではCLPはロータリーを台無しにする、という事になります。でも織田さんはニコニコして成田クラブの成功を讃えてくれたのでした。忘れられない一コマです。銚子で開催された地区大会のRI会長代理は織田さんの尊敬するビチャイ・ラタクルRIパスト会長でしたが、地区大会終了後成田山にお参りに来られ、平山さんと一緒に境内をご案内したことも思い出です。年度の後半、3・11東日本大震災が地区や各クラブに襲いかかりました。成田でも50周年記念式典をや

るべきか中止すべきか大揺れに揺れました。しかし平山さんの決断とリーダーシップで、被災地への哀悼の祈りと復興への支援の50周年式典として実行されました。

会長年度が終わって、私はクラブ研修委員長として地区クラブ研修セミナーに参加しました。

このセミナーでRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）と出会うのです。参加者が10名程度の小グループに分かれ、コの字型のテーブルに座り、セッションを進行するのが白鳥政孝さんでした。「クラブの充実」というテーマの自由討論でした。白鳥さんの巧みなリードと質問の投げ掛けに咄嗟に反応し本音がこぼれ、頭の中が熱くなる感じがしました。この瞬間が私のRotary Moment！（田中作次RIパスト会長の言う、ロータリーの素晴らしさを体感した瞬間）でした。以後白鳥さんに従って地区委員会で3年以上RLIの活動に参加することとなり、現在に至ります。ロータリーから多くの恩恵をいただきました。職業奉仕に努め、自らの生業から教えられました。奉仕活動の領域が広がり、生きる世界が広がりました。多彩な出会いは人間性の様々な相を見せてくれる人間学の宝庫です。人生は死ぬまで勉強、ロータリーは卒業のない人生学校です。生涯の友、行動のエネルギーを与えてくれる拠り所なのです。

◇ 点 鐘

神崎 誠 会長

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
72	70	49	21	70.00%	75.71%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
諸岡 市郎左衛門 会員	7月14日	2018-19年度グローバル補助金奨学生第3回オリエンテーション
神崎 誠、笠原 智、小泉 英夫、眞々田 美智子 村嶋 隆美 各会員	7月17日	会員増強・維持拡大委員会
神崎 誠、甲田 直弘、土井 豊彦、矢野 理恵、近藤 博貴 堀口 路加、佐久間 高直、中野 直人、田淵 公敏 各会員	7月17日	新旧青少年奉仕委員会
齊藤 三智夫 会員	7月19日	2018-19年度月信委員会
設楽 正行、石川 憲弘、成田 温、神崎 誠、深堀 伸之 各会員	7月20日	危機管理委員会
諸岡 市郎左衛門 会員	7月20日	第1回ロータリー財団委員会 アジェンダー
平山 秀樹、矢島 紀昭、大橋 創一、根本 実、甲田 直弘 各会員	7月20日	社会奉仕委員会
本宮 昌則、山田 真幸、小宮山 四郎、成田 諸岡 靖彦、小寺 眞澄、齊藤 三智夫、神崎 誠 諸岡 市郎左衛門 各会員	7月20日	ロータリー財団委員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例會出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078